

日頃から避難場所の確認を

防災講演会「東日本大震災を経験して」が8月7日、市民会館で開催されました。東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県山田町職員の白土靖行さんが、津波の映像や写真を映しながら震災発生当時の対応や様子を語り、市民ら約170人が耳を傾けました。



希望あふれるまちづくりを

市総合計画審議会は8月7日、木塚会長らが市役所を訪れ、計画策定に向けた基本構想案に対する答申書を石原市長に手渡しました。審議会は、基本構想が今後の市政運営に向けた適切な内容とし、目標達成に向けて基本計画を策定するよう求めました。



体験を通じ看護職を考える

看護師などをを目指す学生を対象に、看護体験会が8月17日から19日まで市立御前崎総合病院で開催されました。体験会へ参加した市内外の高校生6人は、病院内の見学や血圧測定、心肺蘇生法などを実施し、看護職への理解を深めました。



世界中の仲間と交流を深める

7月31日から8月8日まで山口県山口市で開催されたボーイスカウト世界ジャンボリーに参加した水野海斗さん(桜ヶ池)が8月20日、市役所を訪れ、国内外のスカウトとさまざまな活動を通して交流したことや体験を、石原市長に報告しました。



海上殉難者の冥福を祈る

御前崎沖の遠州灘で亡くなった漁業者らを供養する「海上殉難者供養祭」が8月24日、御前崎エコパークで営まれました。石原市長や漁業関係者約40人が出席して、殉難者の冥福と漁業の無事故を祈願しました。



遠州灘海岸を守るために

遠州灘沿岸保全対策促進期成同盟会講演会が8月27日、佐倉公民館で開催されました。遠州灘海岸に接する8市の関係者ら約200人が参加し、京都大学の二井一禎名誉教授が、松枯れの歴史や仕組み、対策などについて講演しました。

